日本知財学会第13回年次学術研究発表会　一般発表のご案内（発表者、発表者所属、テーマ、連名発表者）
2015年12月6日（日）

	一　般　発　表									
場所	221	222	223	231	232	233	242	243	244	245
座長	廣瀬　隆行	安田　和史	香坂　玲	菊池　純一	谷口　牧子	飯田　香織里	生越　由美	米山　茂美	杉光　一成	小田　哲明
	知財制度論	著作権・ コンテンツマネジメント	知財に関する国際問題	知財会計・ 評価と経営問題	知財人材育成・知財教育	産学連携及び新規事業	知財・技術情報の 戦略的活用と管理	知財・技術情報の 戦略的活用と管理	その他（ブランド、 知的財産の新領域）	その他（ブランド、 知的財産の新領域）
12:30	2A1 永井　武 法政大学大学院政策創造研究科 地域産業政策における知財制度の役割について 馬場錬成	2B1 村上　恭一 青山学院大学大学院法学研究科 著作権法における「公」概念	2C1 鈴木　睦昭 国立遺伝学研究所 合成生物学をめぐる国際的な議論ー生物多様性締約国会議を中心にー	2D1 速水　進治 日本弁理士会知的財産価値評価推進センター 企業における知財価値評価ニーズ	2E1 篭原　裕明 全国知財･創造教育研究会 変革の社会に求められる実践的な知財・創造教育	2F1 仁平　洋一 知的財産管理技能士会研究会 産学官連携機関において求められる知財人材像 冨重弘、我妻真二、川下英盛、松浦昌宏、宮澤亘	2G1 妹尾　堅一郎 産学連携推進機構 非権利化知財のマネジメント～産業生態系変容の次世代知財マネジメントに与える影響～	2H1 李　テイ 株式会社プロパティ 中国戦略に欠かせない中国特許調査の注意点	2I1 齋藤　崇 日本大学大学院法学研究科 悪意の商標出願に関する考察	2J1 鈴木　公明 東京理科大学大学院イノベーション研究科 非技術的知財のマネジメント
12:50	2A2 加藤　浩 日本大学 プロダクト・バイ・プロセス・クレームの解釈に関する一考察	2B2 諏訪野　大 近畿大学法学部 著作権法における建築物と庭園	2C2 越智　豊 日本弁理士会ライフサイエンス委員会 日本のバイオ・ライフサイエンス産業の国際競争力の特許面からの調査・研究～iPS細胞関連の知的財産の検討及びiPS細胞から再生医療への知的財産について～ 石埜正穂、森田裕、春名真徳、吉田美和、辻淳子	2D2 田中　聡 日本弁理士会 知的財産価値評価推進センター 大学等における知財価値評価ニーズ	2E2 小野　卓也 岐阜県立岐阜農林高等学校 知的財産を活用できる地域産業人を育成するための専門高校	2F2 高田　仁 九州大学大学院経済学研究院 科学技術商業化の教育モデル（その1）　プロジェクト進展のプロセスにみる商業化促進メカニズムの考察 松橋俊彦、加藤浩介、松行輝昌	2G2 妹尾　堅一郎 産学連携推進機構 参入抑制と参入促進の知財マネジメント　～参入誘因と参入障壁の分担・関係付けのデザイン～	2H2 杉本　敏彦 株式会社日本電気特許技術情報センター 特許における明細書等の充実度と価値評価 法橋宏高、奥田慶文、五藤智久、小田三紀雄	2I2 乾　利之 IPNJ国際特許事務所 企業活動において示唆的な商標と独創的な商標とはどちらが有益か？ 田中義敏	2J2 眞田　ちひろ 東京理科大学専門職大学院イノベーション研究科 ベンチャーによるBOPビジネスの可能性 鈴木公明
										学生発表
13:10	2A3 滝田　清暉 IP国際技術特許事務所 特許法第168条（訴訟との関係）に関する一考察			2D3 尾崎　光三 日本弁理士会知的財産価値評価推進センター VE(Value Engineering)による機能評価を利用した特許権ないし実施権の価値配賦に関する試み 細田浩一、黒田雄一、宮澤亘		2F3 松橋　俊彦 大阪大学産学連携本部 科学技術商業化の教育モデル（その2）　受講者インタビューにみる日米教育効果の比較考察 高田仁、加藤浩介、松行輝昌		2H3 奥田　慶文 株式会社日本電気特許技術情報センター 特許発明の新規性進歩性水準と価値評価 法橋宏高、杉本敏彦、五藤智久、小田三紀雄		2J3 蓮實　龍紀 日本大学大学院知的財産研究科 中学生・高校生世代の知的財産モラルの形成とその課題 金澤良弘
休憩										

座長	滝田　清暉	諏訪野　大	鈴木　睦昭	奥田　慶文	村松　浩幸	隅蔵　康一	妹尾　堅一郎	沙魚川　久史	小山田　浩	鈴木　公明
	知財制度論	著作権・ コンテンツマネジメント	先端技術・国際標準	知財会計・ 評価と経営問題	知財人材育成・知財教育	産学連携及び新規事業	知財・技術情報の 戦略的活用と管理	知財・技術情報の 戦略的活用と管理	その他（ブランド、 知的財産の新領域）	学生発表
13:40	2A4 北田　透 国土交通省住宅局建築指導課 特許料の引き下げが業種別の特許取得件数、生産量及び平均生産力に与える影響	2B4 中島　博之 弁護士法人東京フレックス法律事務所 漫画等の著作物を利用したコンテンツビジネスの新旧及び映像化された際の視聴率に変わる効果測定方法について 上條由紀子	2C4 香坂　玲 金沢大学大学院人間社会環境研究科 生物模倣技術の社会実装に向けた研究開発主体の課題把握のための特許関連データベースに関する分析 内山愉太、藤平祥孝、田中優至、石井大佑、Frank Ebinger	2D4 黒田　雄一 日本弁理士会知的財産価値評価推進センター スコアリング型DCF法を用いた特許権模擬評価の事例 尾崎光三、細田浩一、宮澤亘			2G4 杉山　立志 特定非営利活動法人　産学連携推進機構 秘匿すべき知財を公開化することで生じる事業リスク～機能性食材の失敗事例から学ぶべきこと～ 妹尾堅一郎、赤星年隆、久保恵美、伊藤宏比古、瀬川丈史、髙橋耕二	2H4 砥綿　洋佑 東京工業大学大学院イノベーションマネジメント研究科 マルチコプター型無人航空機の特許出願分析 田中義敏	2I4 吉岡（小林）　徹 一橋大学イノベーション研究センター 外部デザイナーの関与が企業の意匠に与える影響－総合電機メーカーの登録意匠情報による実証分析－ 渡部俊也	2J4 堀田　和希 日本大学大学院知的財産研究科 証明商標制度の導入必要性と導入案 小川宗一
14:00	2A5 廣瀬　隆行 東京大学大学院工学系研究科 優先権制度に関する分析 元橋一之	2B5 安田　和史 株式会社スズキアンドアソシエイツ オンラインゲーム上のチート行為に対する法的対応	2C5 佐古　めぐみ 金沢工業大学大学院 発明者視点からの技術的イノベーション促進のための制度設計研究 加藤浩一郎	2D5 吉川　万美 オクターヴBC株式会社 知的財産マネジメントを阻害する要因の考察	2E5 若松　英治 宮城県水産高校 課題意識から生まれる“ものづくり”～体験の充実と創意工夫をベースとした専門高校における知財教育の展開に関する一考察～	2F5 井上　隆 京都大学大学院医学研究科 米国バイオベンチャーの製品パイプラインと特許出願に関する調査研究 早乙女周子	2G5 横田　俊一 日本たばこ産業 古典モデルの組み合わせによる新規モデル創成～モンサント事例に見るビジネスモデルと知財マネジメントへの示唆～ 妹尾堅一郎	2H5 宮本　和敏 シナノケンシ株式会社 特許出願動向に基づく成長市場、潜在規模予測に関する一考察［2008年予測に対する妥当性確認］	2I5 関　大 日本技術貿易株式会社 特許明細書の機能的記述と意匠の有効性との関係 鈴木公明	2J5 長門　正貢 東京理科大学専門職大学院イノベーション研究科 人工知能による発明と著作の権利帰属に関する一考察 平塚三好、小林和人、阿部仁、安高史朗
14:20	2A6 三井　覚 平成26年度日本弁理士会バイオ・ライフサイエンス委員会第4部会 存続期間延長登録に係る特許権についての調査、研究及び提言 大西達夫、田中洋子、河部秀男、駄栗毛直美、遠藤広介、岡部佐知子		2C6 南島　昇 日本弁理士会技術標準委員会 技術標準を見据えた知財人材の育成	2D6 枝村　一磨 科学技術・学術政策研究所 企業の知的財産活動に関する調査−平成26年度民間企業の研究活動に関する調査より− 隅蔵康一、古澤陽子、福澤尚美	2E6 小出　篤史 theta研究室 共通教科「情報」における知財教育に関する一考察	2F6 香月　亜美 京都大学 産官学連携本部 知財・ライセンス化部門 連続する研究開発プロジェクトにおける人材の役割と貢献 ―ナノセルロースの事例から―	2G6 金間　大介 東京農業大学国際食料情報学部 アウトバウンド型オープン・イノベーションと専有可能性 西川浩平	2H6 有田　仁 大阪工業大学　大学院知的財産研究科 クラウドセキュリティ技術に関する特許出願傾向と特性	2I6 野津　喬 実践女子大学　生活科学部　現代生活学科 農業分野のプロダクト・イノベーションに関する要因分析―都道府県による新品種開発を題材として―	2J6 松本　翼 日本大学大学院　知的財産研究科 著作者人格権の制限規定に関する一考察 菅野政孝
休憩										

座長	加藤　浩		吉岡（小林）　徹		世良　清	高田　仁	金間　大介	枝村　一磨	遠山　勉	
	知財制度論		先端技術・国際標準		知財人材育成・知財教育	産学連携及び新規事業	知財・技術情報の戦略的活用と管理	知財・技術情報の戦略的活用と管理	その他（ブランド、知的財産の新領域）	
14:50	2A7 藤原　研二郎 日本水産株式会社中央研究所 明細書における実験データの修正		2C7 田中　芳夫 東京理科大学　イノベーション研究科 IoTのアウトカムスタディ 沙魚川久史		2E7 川原　英昭 川原特許事務所/大阪工業大学知的財産学部 知的財産管理技能検定2級3級の評価等	2F7 八神　寿徳 三重大学社会連携研究センター 産学連携の成果における大学名称等の使用に関するリスク管理およびその対応策に関する考察—大学商標の観点から— 狩野幹人、辻誠三	2G7 瀬川　丈史 特定非営利活動法人　産学連携推進機構 知財マネジメントのジレンマ～食品加工分野におけるNBとPBの関係に関する一考察～ 妹尾堅一郎、赤星年隆、久保恵美、伊藤宏比古、杉山立志	2H7 澄川　愛 九州大学 マテリアルトランスファーにおける秘密保持条項の重要性及び妥当性 深見克哉	2I7 阿河　正明 新電元工業株式会社 知的財産分野における公証制度の利用の現状と将来性	
15:10	2A8 胡　韋 東京大学工学系研究科 特許権侵害訴訟の結果が原告企業のイノベーションパフォーマンスに与える影響に関する実証研究 渡部俊也		2C8 沙魚川　久史 東京理科大学 研究推進機構 所有から利用へのパラダイムシフトに伴うサービスビジネスの変容～映像配信サービスにおける顧客価値形成の変化に対する一考察～ 小川延浩		2E8 李　鎔璟 山口大学 全学必修知財教育からの理工系学生向けへの展開事例 ～知財展開科目『ものづくりと知的財産』の取組と学習効果の一考察～ 木村友久、陳内秀樹、北村真之、阿濱志保里	2F8 狩野　幹人 三重大学社会連携研究センター 産学連携の成果に及ぼす要因－中小企業と大企業との比較・分析－ 中畑裕之、西村訓弘	2G8 伊藤　宏比古 特定非営利活動法人　産学連携推進機構 植物工場における生産ノウハウの活用～N×1×Nのビジネスモデル構築に向けて～ 妹尾堅一郎、久保恵美	2H8 飯田　香緒里 東京医科歯科大学 アカデミアにおける技術流出防止にむけた方策の検討 石埜正穂	2I8 小樽　信夫 株式会社プロパティ 事実実験公正証書の作成実務 宮川忠之	
15:30	2A9 二間瀬　覚 日本弁理士会不正競争防止法委員会 不正競争防止法に規定する技術上の営業秘密の流出と人との関係についての考察		2C9 佐藤　智文 知的財産研究会IPLounge IoT化の進展に伴う事業領域と技術領域の変容 竹内均、大城裕太、沙魚川久史		2E9 陳内　秀樹 山口大学　大学研究推進機構知的財産センター 全学必修知財教育からの農学系学生向けへの展開事例～知財展開科目『農業と知的財産』の取組と学習効果の一考察～ 李鎔璟、木村友久、北村真之、阿濱志保里	2F9 久保　恵美 特定非営利活動法人　産学連携推進機構 産学官連携事業における知財マネジメント～地域の食材事業を事例とした一考察～ 妹尾堅一郎、伊藤宏比古、赤星年隆		2H9 境　正寿 境特許事務所 公的研究機関の橋渡し機能に資するオープン・イノベーションモデル	2I9 川上　正隆 青山学院大学 インターネット・ビジネスにおける混同惹起行為要件「周知性」の地域的範囲についての検討	
15:50	2A10 鴨　みどり 日本弁理士会ADR推進機構 ADRに対する期待 川村昌子		2C10 小川　延浩 弁理士 所有から利用へのパラダイムシフトに伴うサービスビジネスの変容～ビジネス向けソフトウェアのクラウドサービス化とビジネスモデル変化を可能にするキーテクノロジーに対する考察 妹尾堅一郎							